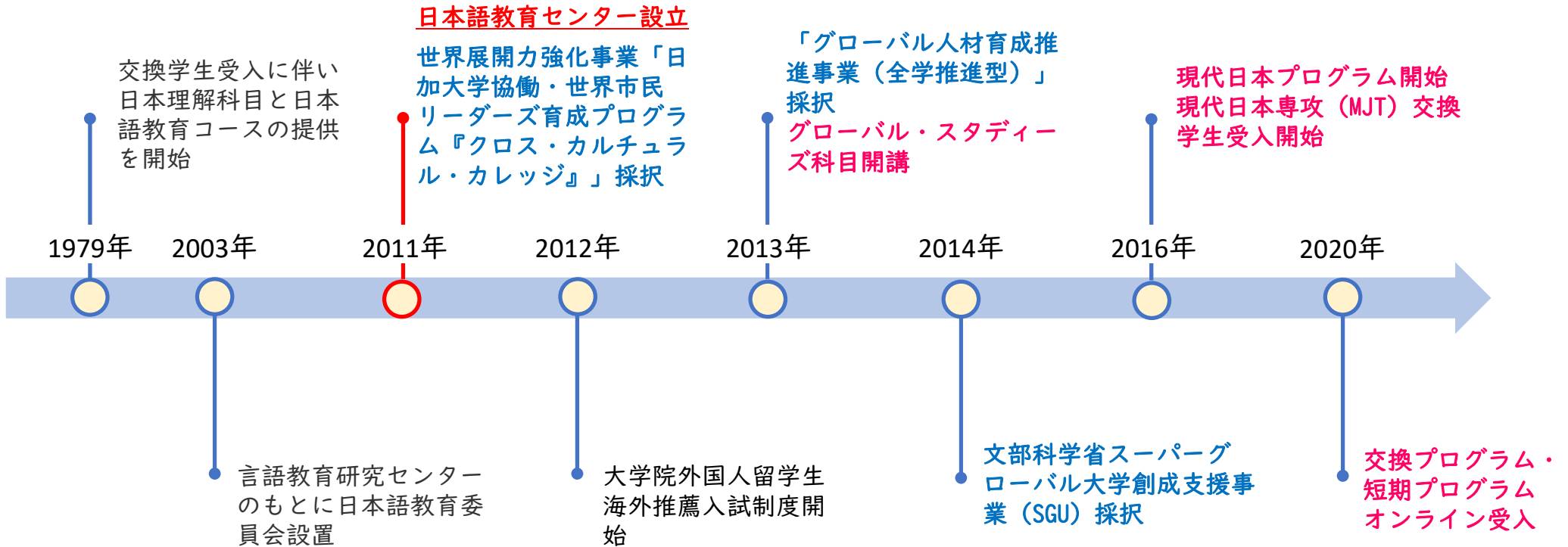




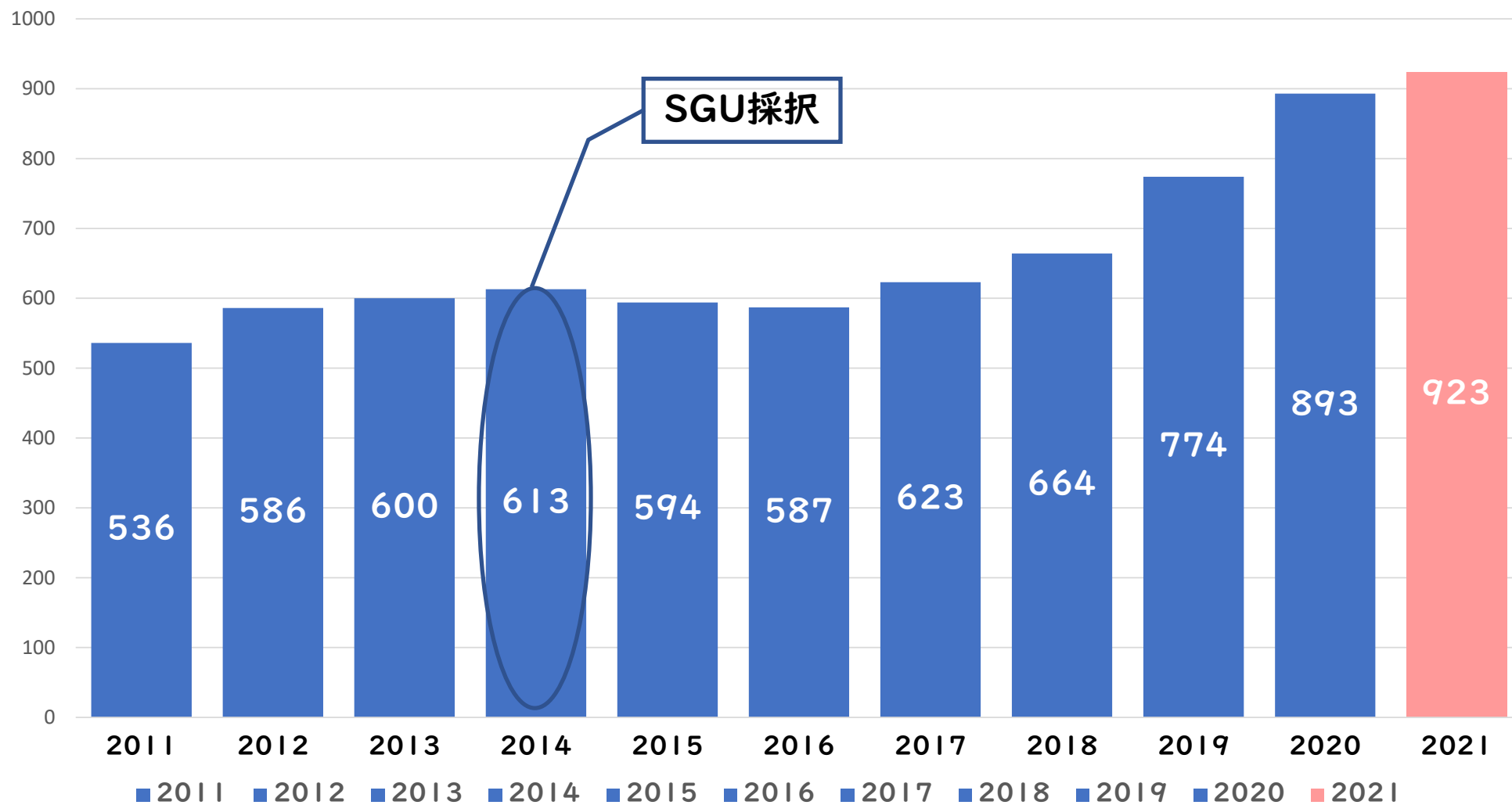
日本語教育センター10年の歩み 拡大する大学の国際化施策の中で

日本語教育センター副長／法学部
森本 郁代

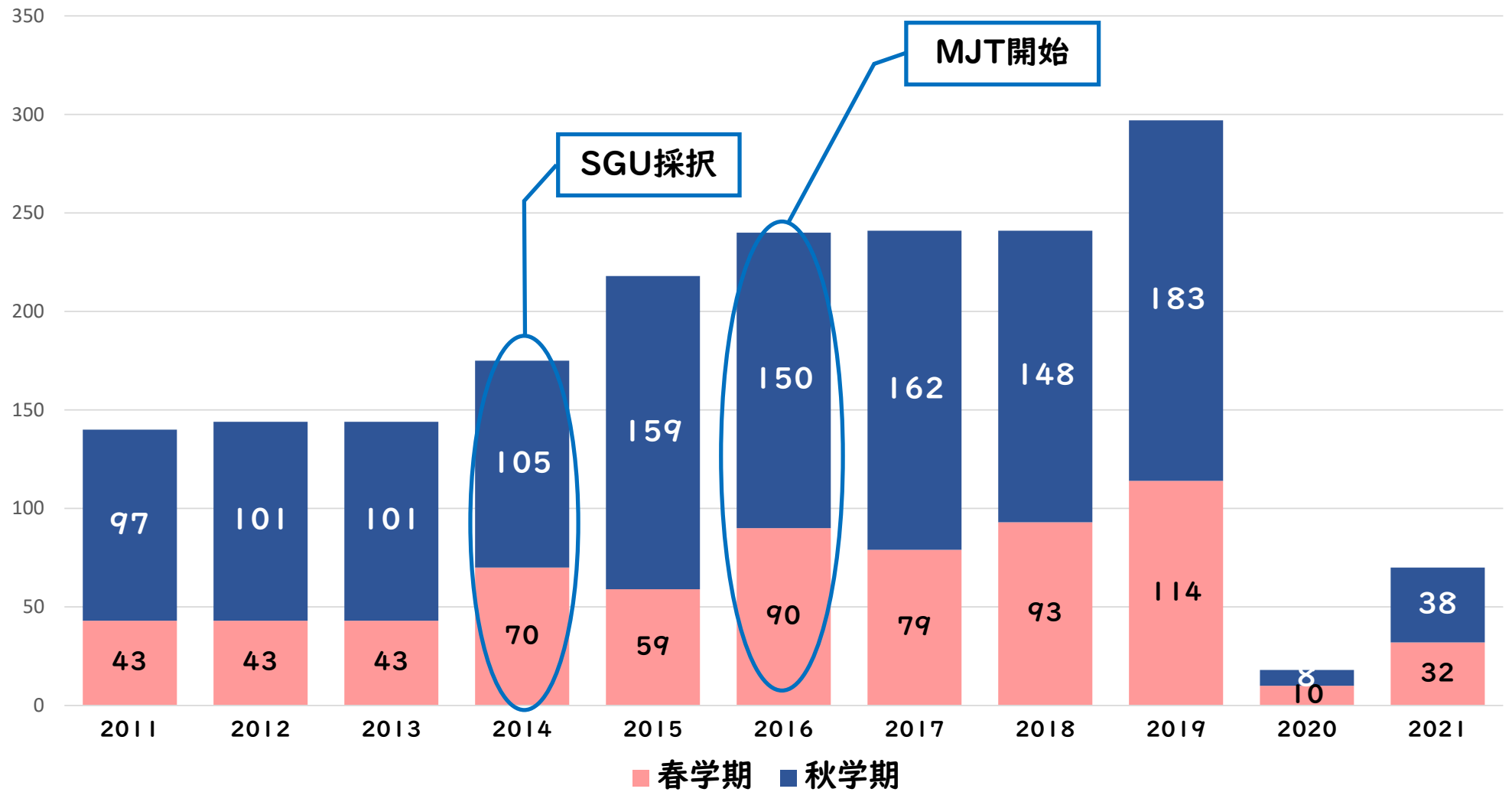
日本語教育センター設立10年のあゆみ



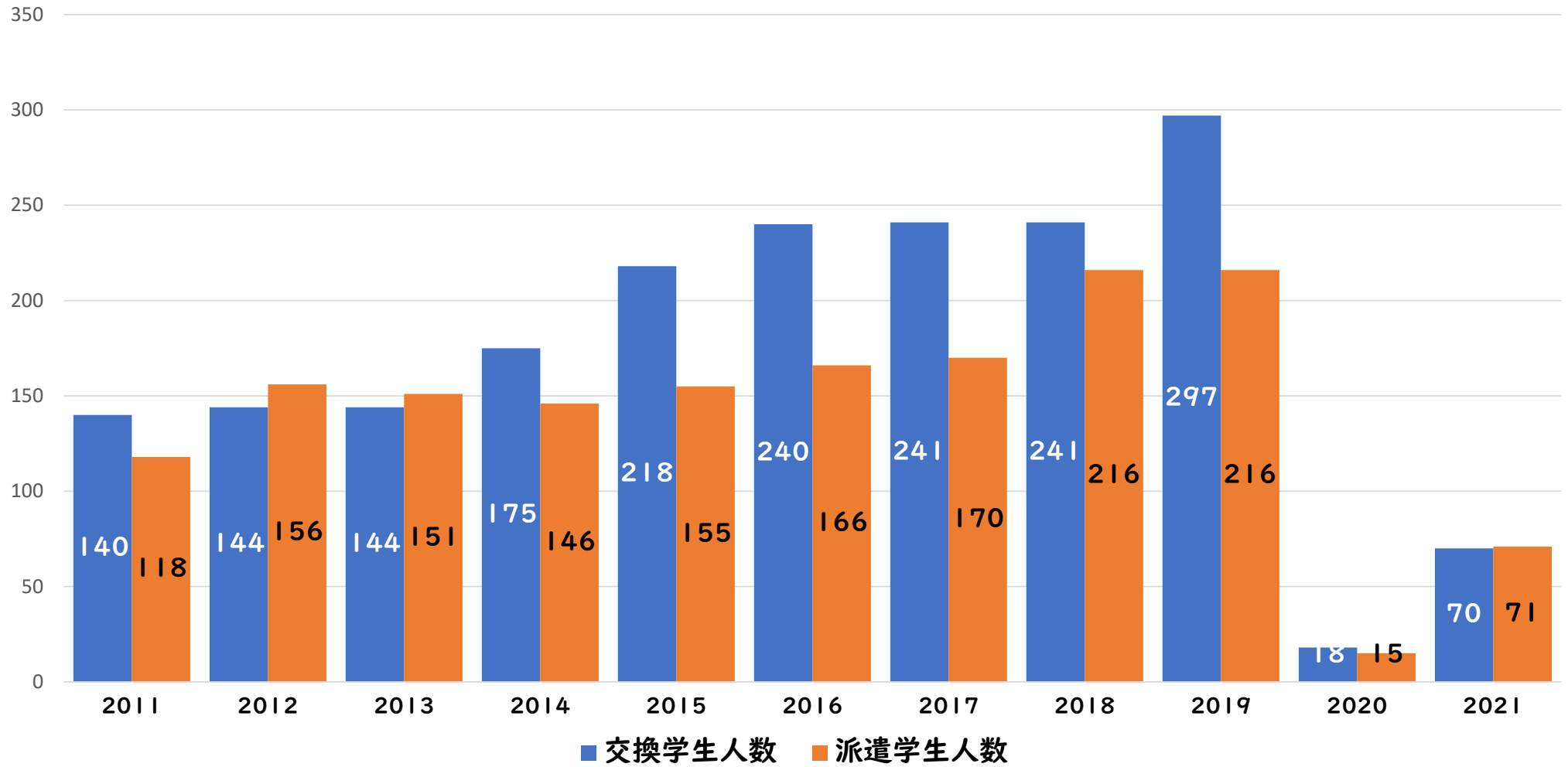
留学生数の推移：正規留学生



留学生数の推移：交換学生（春・秋）



交換学生数と派遣学生数の推移



留学生の出身国・地域

-大学院留学生を例に-

2011年度：18の国と地域から123名受入

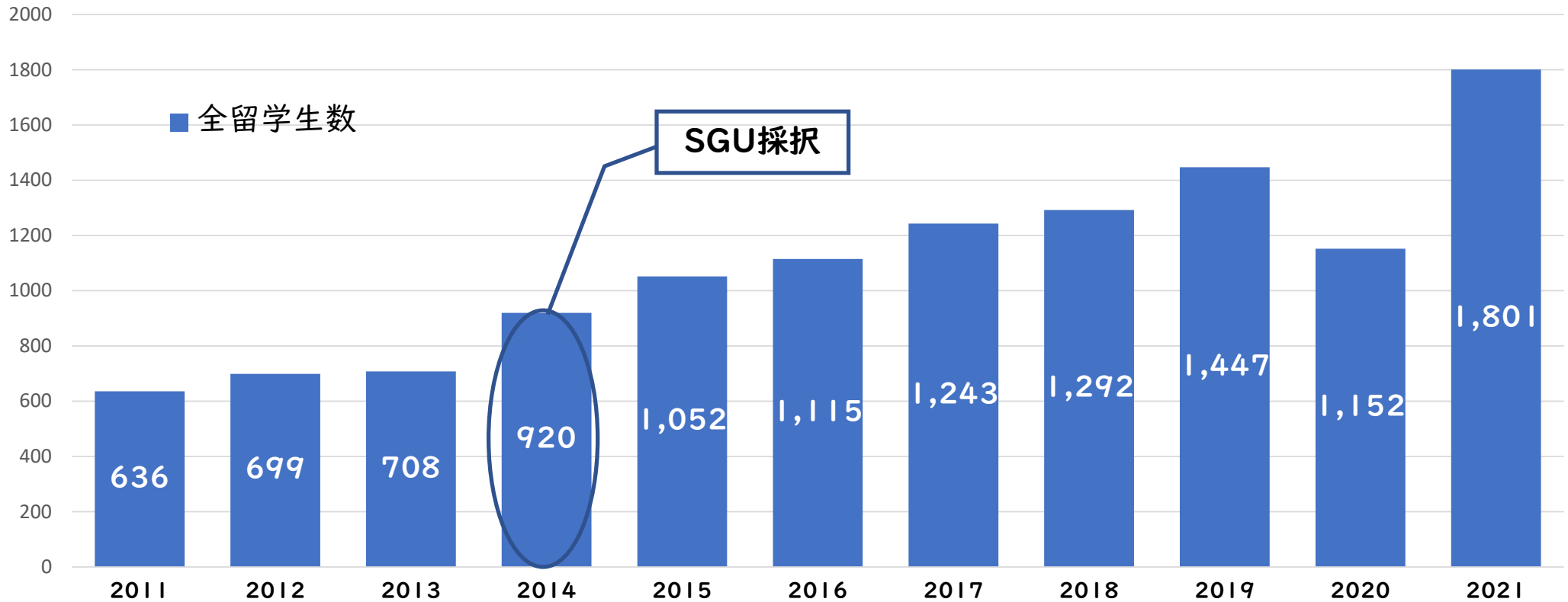
中国 (74)
韓国 (12)
インドネシア (7)
タイ (6)
サウジアラビア (5)
台湾 (4)
アメリカ (2)
コートジボアール (2)
香港 (2)
モンゴル
ベトナム
ブルネイ
カナダ
アルゼンチン
ロシア
ブルガリア
UAE
アンゴラ

2021年度：29の国と地域から205名受入

中国 (146)
インドネシア (18)
ベトナム (7)
韓国 (3)
モーリタニア (3)
アメリカ (3)
タイ (2)
インド (2)
サウジアラビア (2)
ジンバブエ (2)
メキシコ (2)
ミャンマー
台湾
オマーン
シリア
アルジェリア
ナイジェリア
ガーナ
ザンビア
コートジボアール
モザンビーク
ニジェール
カナダ
コロンビア
オーストラリア
キリバス
ウガンダ
南アフリカ共和国
ソマリア

() 内は2名以上受入の人数

留学生数と教員数の推移



専任	2(1)	2(1)	2(1)	2(2)	2(2)	2(2)	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)
SIL	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3
常勤	2	3	5	2	5	4	4	3	3	3	3

教員数

まとめ



- 日本語教育センターの歩み
 - 大学の国際化施策の推進と拡大に対する貢献
 - 多様な価値観を受容し自律的に学びを進めることができる力の養成を目指したプログラム・科目のデザインと実践
 - 留学生と日本人学生との交流の機会の創出
 - 日本語パートナー、ラーニングアシスタント、日本語ボランティアの活用
 - サポートする・されるという関係にとどまらず、**お互いに理解を深め、学び合う機会**となるよう、それぞれの位置付けを検討し、より豊かな交流を目指してきた
- 今後の課題
 - **「関学らしい多文化共生」**の実現
 - ⇒ 留学生と日本人学生とが共に学び合うプログラムの開発と展開
 - 留学生と日本人学生が共に学び合う科目、多文化共生をキーワードにした科目の開発をすでに進めている
 - ⇒ 学部、研究科、各センターとの連携